

生成AI時代の 教育を考える



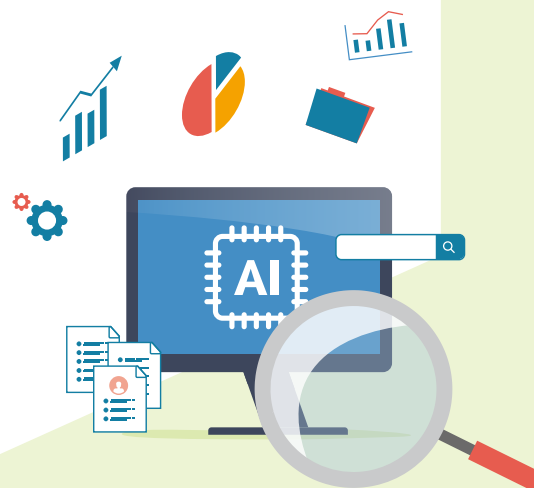
高大接続を見据えた高等学校におけるデータサイエンス教育実践

林 宏樹 氏

雲雀丘学園中学校・高等学校 教諭 (情報科、数学科、探究科)

大学教育において、数理・データサイエンス・AIに関する教育体制が整備されつつある。それに伴い、AI戦略2022ではすべての高等学校卒業生が数理・データサイエンス・AIに関する基礎的なリテラシーを習得することが提示されている。加えて、2022年度から実施される高等学校学習指導要領では、様々な教科でデータサイエンスに関わる内容が増加している。

このような現状を踏まえ、高等学校における情報、数学、地理、総合的な探究の時間にデータサイエンスを取り入れた授業実践事例を紹介する。これらの実践を通して、高大接続につながる知見を見出す一助となることを期待する。



開催日時

2024年 2月29日 (木)

18:00 ~ 19:30 [オンライン開催]

参加
無料

コーディネーター



小山田 耕二 氏

大阪成蹊大学
データサイエンス学部
データサイエンス学科 学科長

対象

高等学校・大学 関係者 ほか

定員

80名 先着順、事前予約制

申込期限 ▶ 2月25日 (日)

申込方法 ▶ 申込フォームより

お申し込みください



申込フォーム

開催趣旨

コロナ禍を機に、社会を取り巻くIT環境が加速度的に変化する中、国においてはデジタル人材の育成が急務とされ、AI技術やデータサイエンスの素養を身につけた人材育成を目標に教育界が動き出しています。本フォーラムでは、高等学校で実践されるデータサイエンスの学びについて理解を深めながら、数理・データサイエンス・AI教育における高大接続の今後の展望を探ります。



プログラム

18:00 開会挨拶

18:05 講演

19:05 トークセッション

19:25 閉会挨拶

講師紹介

林 宏樹 氏 プロフィール

雲雀丘学園中学校・高等学校教諭（情報科、数学科、探究科）。兵庫県公立高校の数学科教員として19年在籍し、現任校へ赴任。兵庫県立大学情報科学研究科博士後期課程データ計算科学専攻在学中。2021年第17回日本統計学会統計教育賞受賞。
JDSSP 高等学校データサイエンス教育研究会主査。

問い合わせ先

特定非営利活動法人

大学コンソーシアム大阪 事務局

TEL: 06-6344-9560 (平日 9:30 ~ 17:30)

E-mail: koudai★conso-osaka.jp ※★を@に変えてください。

